

*e*Care-OnDemand™

Version 3.2

サービスに関する確認事項



■目次

1. サービスにおける注意事項.....	3
1-1. サービスのご利用について.....	3
1-2. 動作要件.....	3
1-3. eCare-OnDemand V3.2 と InfoTrace-OnDemand V3.2 を同時にご利用される場合の注意 事項.....	4
1-4. インターネット接続環境に関する注意.....	4
1-5. お申込内容、サービスの追加・変更、解約について.....	4
2. 制約事項.....	5
3. 注意事項.....	8
4. 改善項目.....	8
5. 変更項目.....	10
6. 新機能.....	12
改訂履歴.....	13

本書では、eCare-OnDemand(以下「本サービス」)を実施するため確認事項を記載しています。サービスをご利用する前に必ずご確認ください。

1. サービスにおける注意事項

1-1. サービスのご利用について

- ・ 本サービスはインターネットを使用して提供するサービスです。
- ・ サービスご利用時にインストールしていただくソフトウェア(以下、e-Care Agent)は、本サービスのWeb サイトよりダウンロードし、お客様にてインストール作業を実施してください。
- ・ ご利用最低期間は、ご利用開始日の翌月1日より、3 カ月間です。

1-2. 動作要件

本サービスで提供する e-Care Agent は、以下の OS で動作します。

■サポート OS

OS	エディション	32ビット	64ビット
Windows 7	Home Premium	Service Pack 1	
	Professional		
	Enterprise		
	Ultimate		
Windows 8.1	エディションなし	Service Pack なし	
	Pro		
	Enterprise		
Windows 10	Home	Service Pack なし	
	Pro		
	Education		
	Enterprise		
Windows Server 2008	Standard	Service Pack 2	
	Enterprise		
Windows Server 2008 R2	Standard	/	Service Pack 1
	Enterprise		
Windows Server 2012	Standard	/	Service Pack なし
	Datacenter		
Windows Server 2012 R2	Standard	/	Service Pack なし
	Datacenter		

※日本語版のみサポート対象となります。

※上記に記載されている OS を Microsoft がサポートを終了した場合、本サービス上においてもサポート対象外となります

■ディスク容量

270MB 以上の空き(インストールに必要な空き容量)

■OS ディスクイメージのコピー展開 (重要)

OS のディスクイメージをコピーして多数のクライアントを展開する方法がありますが、本サービスの Agent にこの方法は適用できません。本サービスの Agent にはコンピュータ単位で一意に設定されたデータがあり、単純にコピーするとそのデータが衝突して正常な情報の取得ができません。

OS のディスクイメージでコピー展開する場合は、担当営業またはオンデマンド事務局までお問い合わせください。コピー展開に対応したインストーラを別途提供いたします。

■OS のアップグレード

本サービスの Agent がインストールされた PC の OS のアップグレード(8.1 から 10 のような)をする場合は、必ず Agent をアンインストールした状態で行ってください。

1-3. eCare-OnDemand V3.2 と InfoTrace-OnDemand V3.2 を同時にご利用される場合の注意事項

標準提供のインストーラは、InfoTrace-OnDemand V3.2 と eCare-OnDemand V3.2 に必要なエージェント 2 つを同時にインストールします。このため、以下の制限が発生しますのでご注意ください。

- ・ InfoTrace-OnDemandの対応OSでないWindows Server 2008などのサーバーOSでは、標準提供のインストーラを使用することができません。
- ・ 単一のコンピュータでどちらか一方のサービスを利用する場合は、標準提供のインストーラを使用することができません

以上の場合、InfoTrace-OnDemand V3.2、eCare-OnDemand V3.2 それぞれ専用のインストーラを提供致しますので、弊社までご連絡ください。

1-4. インターネット接続環境に関する注意

本サービスを開始していただくためには、お客様のPCからインターネットへ向けて、以下の通信が可能である必要があります。

TCP/443	(Webレポート閲覧用)
TCP/24556	(資産情報取得用・制御オプション用)

1-5. お申込内容、サービスの追加・変更、解約について

お申込内容の変更・解約については、お申し込み時にご登録いただいたご連絡担当者様からのみ受け付けさせていただきます。また、ご登録いただくご担当者様に変更がある場合は、必ずご連絡ください。

2.制約事項

本サービスでは下記の制約事項がございます。

KB001395 ウイルス対策ソフトウェアがインストールされており、かつ UAC が有効に設定されている環境において、ネットワーク上の Agent インストールディスクが正常に実行されないことがある

ウイルス対策ソフトウェアがインストールされており、かつ UAC が有効に設定されている環境において、ネットワーク上の Agent インストールディスクが正常に実行されないことがあります。この場合は、「SolAgt.exe」を右クリックし「管理者として実行」から Agent インストールディスクを実行してください。弊社では以下のウイルス対策ソフトウェアで現象が発生することを確認しています。

- ・ノートン 360 v5.0

KB001382 Agent のインストールを実行中に、ウイルス対策ソフトウェアがプログラムの信頼性を確認するメッセージを表示することがある

Agent のインストールを実行中に、ウイルス対策ソフトウェアがプログラムの信頼性を確認するメッセージを表示することがあります。この場合は、プログラムを許可してインストールを続行してください。リモートアップデート時などメッセージが表示されないこともありますので、各環境にて動作確認をした上で Agent のインストールを実行するようにしてください。弊社では以下のウイルス対策ソフトウェアで現象が発生することを確認しています。

- ・エフセキュア アンチウイルス ワークステーション 9.20(ディープガード機能)

KB001406 Agent のインストール先フォルダに 110 文字以上のフォルダパスを指定した場合、Agent のインストールまたはアンインストールに失敗することがある

Soliton Smart Security Agent のインストール先フォルダに 110 文字以上のフォルダパスを指定した場合、Agent のインストールまたはアンインストールに失敗することがあります。

KB001556 互換モードでの使用はサポート対象外

互換モードを設定しないようにしてください。
サポート対象の OS では、互換モードを使用しない状態で動作を保証します。
互換モードを設定した場合は、以下のような現象が発生します。

- ・起動しない、起動しても正しく動作しない
- ・Agent のインストール・アンインストールに失敗する

KB001595 Agent インストール時の空き容量チェックが正しく動作しない場合がある

Soliton Smart Security Agent インストール時に、空き容量チェックが正しく動作しない場合があります。

KB001516 Agent インストール時にセットアップウィザードが応答なしになる場合がある

Soliton Smart Security Agent のインストール時に、セットアップウィザードが「応答なし」になることがあります。
セットアップ自体は問題なく行われていますので、セットアップ完了までお待ちください。

KB001531 UAC 環境での Agent インストール/アップデート時、OS 再起動後にユーザーアカウント制御の画面が表示される場合がある

UAC 環境での Agent のインストール/アップデート時、セットアップ後に OS を再起動した際に、ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合があります。
OS 再起動後もセットアップが実行されているため、管理者権限に昇格する必要があります。

KB001582 Agent アンインストールの再起動要求後、まれに一部ファイルが残る場合がある

Soliton Smart Security Agent のアンインストール時に再起動要求が行われる場合、まれに一部ファイルが削除されずに残る場合があります

KB001635 64 ビット OS 環境で、Agent セットアップ時のエラーログが出力されない場合がある

Agent セットアップ時、インストール先フォルダが作成できなかったり再頒布モジュールのインストールに失敗したりしてエラーとなることがありますが、その際、64 ビット OS 環境では、セットアップログが出力されていない場合があります。
このような場合はパスを取得するためのレジストリ値が消えている可能性があります(原因は不明です)。以下のようにレジストリを設定した後、再度 Agent セットアップを実行してください。

キー: HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Explorer¥User Shell Folders
値名: Common AppData
値: %ProgramData%(Windows 7/2008 の場合)

レジストリエディタの使い方を誤ると、深刻な問題が発生することがあります。最悪の場合、OS の再インストールが必要になることがあります。弊社は、レジストリエディタの誤用により発生した問題に関しては、一切責任を負わないものとします。レジストリエディタは自己の責任において使用してください。

KB001728、KB001746、KB001755 Windows ストアアプリの対応

Windows ストアアプリは、サポート対象外となります。
Soliton Smart Security Agent をインストールしたコンピュータで Windows ストアアプリは、通常どおりご使用いただけますが、Soliton Smart Security Agent の各機能が正常に動作することを保証いたしません。
※ストアアプリ: Windows ストアからダウンロード・インストールされた Windows8.1 のモダン UI 上で動作する全画面表示アプリ

KB001707 Agent のインストール時に、「再頒布パッケージのインストール中・・・」の状態エラーになり、インストールが中断する場合がある

Agent のインストール時に、以下のエラーが表示されて、インストールが中断される場合があります。インストールが中断された場合は、OS を再起動後に、再度インストールを実行してください。
<エラー>
箇所: 再頒布パッケージのインストール中・・・
詳細: Microsoft Visual C++再頒布可能パッケージ(vcredist_x86.exe) のセットアップにて、コンピュータの再起動が必要となりました。
再起動した後、再度セットアップを行ってください。
セットアップを中止します。
※ 「vcredist_x64.exe」になる場合もあります。

KB001329 ソフトウェア情報で表示されるウイルス対策ソフトウェアのバージョンが、製品の形式と異なる場合がある

e-Care のウイルス対策ソフトウェアの情報で表示されるエンジンバージョン、パターンファイルバージョン情報は、対象のソフトウェアの画面上で表示される形式とは異なる場合があります。

KB001998 「Soliton Smart Security Agent サービスは予期せぬ原因により終了しました。このサービスの強制終了は x 回目です。」というイベントログが記録される場合がある

インベントリ情報を収集している間に、コンピュータのシャットダウン、再起動時などを行った場合に「Soliton Smart Security Agent サービスは予期せぬ原因により終了しました。このサービスの強制終了は x 回目です。」というイベントログが記録される場合があります。

Windows10 における Windows Update 検知について

Windows 10 の Windows Update の更新設定は、Windows 8.1 以前の設定と全く異なりますが、グループポリシーで自動更新設定を行うと、Windows 8.1 以前と同じ設定になります。

Windows 10 で Windows Update をグループポリシーで設定している PC は、eC-OD の設定-ソフトウェア-Window Update の「Windows 10」に設定されている内容では違反が検知できないため、「Windows 8.1 以前の OS」に設定されている内容で違反を検知します。

KB000892 OS サービスマネージャを起動していると Agent のインストール/アンインストールに失敗する

Agent のインストール時およびアンインストール時に OS サービスマネージャを起動していると、サービスの登録および削除に失敗します。
サービスマネージャを終了した状態でインストールおよびアンインストールを実行してください。

KB000300 Soliton Smart Security Agent インストール/アップデート時のウイルス対策ソフトウェアとの共存について
ウイルスバスター2007以降で「不正変更(ウイルス/スパイウェア)の監視」、「不審ソフトウェア警戒システム」などの機能が有効になっている場合、Soliton Smart Security Agent のインストールやアップデートを行うと、疑わしい動作として検出されます。ソフトウェアの詳細情報と処理(「許可」または「拒否」)を選択するメッセージが表示されますので、「許可」を選択して処理を続行し、インストールやアップデートを完了させてください。また、その他のウイルス対策ソフトウェアで同様の機能を持つ製品の場合も、正常にインストールやアップデートが完了するようにしてください。

KB000300 ウイルスバスターとの共存について

ウイルスバスター2007以降の「不正変更の監視」や「不審ソフトウェア警戒システム」という機能で、追加されたサービスとして Soliton Smart Security Agent が検出されることがあります。このときに「変更を元に戻す」機能を使用して Soliton Smart Security Agent を削除してしまうことがないように注意してください。もし、Soliton Smart Security Agent を削除してしまった場合は、以下の手順で復旧することができます。

①レジストリエディタを起動して、以下のレジストリ情報を削除してください。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Soliton Systems K.K.\Soliton Smart Security\Agent 以下すべて
また、削除された Soliton Smart Security Agent を構成していたモジュールの各レジストリ情報も削除してください。削除するレジストリ情報は以下のとおりです。

e-Care Agent

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Soliton Systems K.K.\Soliton Smart Security\e-Care\Agent
以下すべて

InfoTrace Agent

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Soliton Systems K.K.\Soliton Smart Security\InfoTrace\Agent
以下すべて

LogAgent

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Soliton Systems K.K.\Soliton Smart Security\Common\LogAgent
以下すべて

SmartOn

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Soliton Systems K.K.\Soliton Smart Security\SmartOn
以下すべて

②Soliton Smart Security Agent をインストールしてください。

このとき、削除された Soliton Smart Security Agent よりモジュール構成が少ない Soliton Smart Security Agent をインストールしないでください。

③Soliton Smart Security Agent をアンインストールしてください。

④改めて Soliton Smart Security Agent をインストールしてください。

【注意】

レジストリエディタの使い方を誤ると、深刻な問題が発生することがあります。最悪の場合、OS の再インストールが必要になることがあります。弊社は、レジストリエディタの誤用により発生した問題に関しては、一切責任を負わないものとします。レジストリエディタは、自己の責任において使用してください。

3.注意事項

本サービスでは下記の注意事項がございます。

KB001351 ウイルス対策ソフトウェアのエンジンバージョンやパターンバージョン情報が正しく取得できない場合がある

ウイルス対策ソフトウェアをインストールした直後の状態でインベントリ情報を取得すると、エンジンバージョンやパターンバージョン情報が正しく取得できない場合があります。
例えばノートン 360 v5.0 では、一度も Live Update を行っていないと、インベントリ情報を取得してもエンジンバージョンが正しく取得できないことがあります。
このような場合は、一度ウイルス対策ソフトウェアの更新処理が行われたあとからインベントリ情報が正しく取得されます。

KB000494 「インストールされているソフトウェア」に表示される情報が「プログラムと機能」に表示される情報と異なる場合がある

この問題は、e-Care V5.2.0 以降で改善されています。
「インストールされているソフトウェア」に表示される情報が「プログラムと機能」に表示される情報に比べて、情報が不足しているなど、異なる場合がある問題を修正しました。ただし、Windows 7 以降の OS で、Windows のホットフィックスの名称が「インストールされているソフトウェア」と「プログラムと機能」で一部異なって表示される場合があります。

KB001996 sysprep を行うと Windows Update が空になる

Windows Update は、OS の[Windows Update]-[更新履歴の表示]に表示される更新プログラムを取得しているため、sysprep を実行したなど、Windows Update の更新履歴が削除された場合は、eCare-OnDemand の Windows Update に表示されなくなります。

4.改善項目

最新バージョンでは、下記の項目が改善されています。

KB001595 Agent インストール時の空き容量チェックが正しく動作しない場合がある

Soliton Smart Security Agent インストール時に、空き容量チェックが正しく動作しない場合がある問題を修正しました。

KB001418 Agent インストール時に、VC++ ランタイムライブラリのインストールに失敗することがある

Soliton Smart Security Agent のインストール時に、VC++ ランタイムライブラリ(vcredist_x86.exe)のインストールに失敗することがある問題を修正しました。

KB001530 Agent アンインストール時に InfoTrace Agent のサービスが削除されずに残る

InfoTrace Agent を含む Soliton Smart Security Agent のアンインストール時、InfoTrace Agent のサービス停止チェックの不足により、InfoTrace Agent だけが削除されずに残ってしまう問題を修正しました。
なお、この現象が発生してしまうと、次回インストールに失敗します。
この問題は、InfoTrace PLUS V3.2.4 以前のすべてのバージョンで発生する可能性があります。

KB000583 Soliton Smart Security Agent のアンインストールをキャンセルすると、別のユーザーで Agent のアンインストールが実行できなくなる

ユーザーアカウント制御(UAC)が有効な場合、Soliton Smart Security Agent のアンインストールをキャンセルすると、別のユーザーでは以下のメッセージが表示されて Agent のアンインストールが実行できなくなる問題を修正しました。
「テンポラリフォルダへのセットアップファイルのコピーに失敗しました。(ファイルコピー(sssetup.exe)に失敗しました)。セットアップを中止します。」

KB001230 Windows ログオン時に、SSSAgtUI.exe のアプリケーションエラーが発生することがある

Windows へのログオン時に、SSSAgtUI.exe のアプリケーションエラーが発生することがある問題を修正しました。

KB001650 ウイルスバスター コーポレートエディションがインストールされている環境で、Agent 起動時にインベントリ情報の再取得を行うと、ウイルス対策ソフトウェアが削除されたと誤認される場合がある
ウイルスバスター コーポレートエディションがインストールされている環境で、システム環境設定の [Agent 起動通知受信時に、再取得を行う(T)] を有効にしていると、Agent 起動時にウイルス対策ソフトウェアが削除されたと誤認される場合がある問題を修正しました。

KB001799 Symantec Endpoint Protection 12、ノートン インターネットセキュリティ v20 がウイルス対策ソフトウェアとして登録されない

Symantec Endpoint Protection 12.1 をアップデート後、e-Care のインベントリ情報を更新すると、ウイルス対策ソフトウェアに「Symantec Endpoint Protection (Symantec AntiVirus)」が登録されない場合があります。また、ノートン インターネットセキュリティ v20 も同様に、インベントリ情報を更新すると、ウイルス対策ソフトウェアに「Norton AntiVirus」が登録されない場合があります。

これらの問題を修正しました。

Symantec Endpoint Protection 12.1 は、アップデート後も「Symantec Endpoint Protection (Symantec AntiVirus)」として表示されます。ノートン インターネットセキュリティ v20 は、アップデート後も「Norton AntiVirus」として表示されます。

KB001833 Agent インストーラの動作中にログオフ・シャットダウン・再起動ができてしまう

Soliton Smart Security Agent のインストーラの動作中に、ログオフ・シャットダウン・再起動ができてしまう問題を修正しました。

これにより、インストーラ動作中にログオフ・シャットダウン・再起動を実行することで稼動状況とレジストリ情報が不整合となり、次回以降、アップデートやアンインストールの処理に失敗することを防ぐことができます。

- ・ サイレントモードと通常 (画面表示) モードの両方に対応しています。
- ・ Windows 7 以降の OS では、シャットダウン画面上にインストーラが動作中である旨のメッセージが表示されます。〈キャンセル〉ボタンをクリックし、インストーラが完了するまでログオフ・シャットダウン・再起動は控えてください。

KB001834 Agent の再インストール/アップデートに失敗する

一部のレジストリ情報が残存することで、Soliton Smart Security Agent の再インストール/アップデートに失敗する問題を修正しました。

KB001854 Windows 8.1、Windows Server 2012 R2 の Agent に対してリモートデスクトップ接続が実行できない

Windows 8.1、Windows Server 2012 R2 の Agent に対して e-Care Console から [リモートデスクトップ接続] を実行できない問題を修正しました。

KB001973 Windows Update の「重要な更新プログラム」の情報取得動作を改善

Windows Update の「重要な更新プログラム」の情報収集時のタイミングにより正しく検疫が行われない問題の改善を行いました。

KB002030 Windows 10 のインベントリ情報で Windows Update の「最終更新日」が更新されない

Windows 10 のインベントリ情報で、Windows Update の「最終更新日」が「未アップデート」などと誤って表示され、更新されない問題を修正しました。

5.変更項目

最新バージョンでは、下記の変更項目がございます。最初のバージョン(V3.2.0)からの累積の情報となっています。

KB001708 ユーザーフォルダにインストールされた Agent のアップデートにはアンインストールが必要
V3.2.6 より、Agent のインストール先フォルダにユーザーフォルダを指定できなくなりました(KB001623)。これにともない、旧バージョンからのアップデート時にもデスクトップやマイドキュメントなどのユーザーフォルダに Soliton Smart Security Agent がインストールされていた場合、アップデートができないように変更しました。
ユーザーフォルダに Soliton Smart Security Agent がインストールされていた場合は、Agent をアンインストールした後に、再度、Agent のインストールを行ってください。

KB001623 Agent のインストール先フォルダのチェックを追加
デスクトップやマイドキュメントなどのユーザーフォルダに Soliton Smart Security Agent をインストールできないようにしました。

KB001501 InfoTrace 設定の除外プロセスリストに McAfee VirusScan Enterprise 8.8 のプロセスを追加
Smart Disk Management Console の[InfoTrace 設定]-[ファイルイベント]-[除外プロセス]に、McAfee VirusScan Enterprise 8.8 のプロセスを追加しました。

KB001747 ウイルス対策ソフトウェアのサポート対象を追加
ウイルス対策ソフトウェア情報のサポート対象に以下の製品を追加しました。

- ・トレンドマイクロ社 ウイルスバスター クラウド V6.0
- ・トレンドマイクロ社 ウイルスバスター コーポレートエディション 10.6
- ・マカフィー社 McAfee Total Protection 2013
- ・マカフィー社 McAfee SaaS Endpoint Protection 5.4
- ・ノートン社 インターネットセキュリティ 2013
- ・ノートン社 ノートン 360 V6.0
- ・エフセキュア社 インターネット セキュリティ 2013
- ・エフセキュア社 クライアント セキュリティ 10.00
- ・エフセキュア社 アンチウイルス ワークステーション 10.00

KB001630 ウイルス対策ソフトウェアのサポート対象を追加
ウイルス対策ソフトウェア情報のサポート対象に以下の製品を追加しました。

- ・トレンドマイクロ社 TREND MICRO ビジネスセキュリティ 7.0

KB001327 ウイルス対策ソフトウェアのサポート対象を追加
ウイルス対策ソフトウェア情報のサポート対象に以下の製品を追加しました。

- ・トレンドマイクロ社 TREND MICRO ビジネスセキュリティ 6.0
- ・トレンドマイクロ社 ウイルスバスター 2012 クラウド
- ・トレンドマイクロ社 ウイルスバスター コーポレートエディション 10.0
- ・トレンドマイクロ社 ウイルスバスター コーポレートエディション 10.5
- ・シマンテック社 Symantec Endpoint Protection 12
- ・シマンテック社 ノートン インターネットセキュリティ 2012
- ・シマンテック社 ノートン 360 v5.0
- ・エフセキュア社 エフセキュア クライアント セキュリティ 9.20
- ・エフセキュア社 エフセキュア アンチウイルス ワークステーション 9.20

KB001488 64ビット OS で Server Protect がウイルス対策ソフトウェアとして認識されない
64ビット OS で、トレンドマイクロ社の Server Protect がウイルス対策ソフトウェアとして認識されない問題を修正しました。

KB001489 64ビット OS で McAfee VirusScan Enterprise 8.8 がウイルス対策ソフトウェアとして認識されない
64ビット OS で、マカフィー社の McAfee VirusScan Enterprise 8.8 がウイルス対策ソフトウェアとして認識されない問題を修正しました。

KB001419 Agent 起動時に AgtNDVer.exe のアプリケーションエラーが発生する場合がある
Lotus Notes/Domino がインストールされている、かつ Notes.ini ファイルが存在しない環境で、AgtNDVer.exe のアプリケーションエラーが発生する問題を修正しました。

KB001232 Agent が起動する際に SSSAgt.exe のアプリケーションエラーが発生することがある
Agent が起動する際に SSSAgt.exe のアプリケーションエラーが発生する問題を修正しました。
この問題は Windows Management Instrumentation が正常に動作していない環境で発生していました。

なお、Windows Management Instrumentation が正常に動作していない環境ではインベントリ情報の取得は正常に行われません。

KB001323 Windows ログオン時に、AgtNDVer.exe の画面が表示される場合がある

Lotus Notes/Domino がインストールされている環境にて、Windows ログオン時に AgtNDVer.exe のコマンドプロンプト画面が表示されてしまう問題を修正しました。

KB001841 ウイルス対策ソフトウェアのサポート対象を追加

- ・ マカフィー社 マカフィー インターネットセキュリティ 2014
- ・ マカフィー社 マカフィー トータルプロテクション 2014
- ・ シマンテック社 ノートン インターネットセキュリティ v21
- ・ シマンテック社 ノートン 360 v20
- ・ シマンテック社 ノートン 360 v21
- ・ エフセキュア社 エフセキュア インターネット セキュリティ 2014
- ・ エフセキュア社 エフセキュア クライアント セキュリティ 11.00
- ・ エフセキュア社 エフセキュア クライアント セキュリティ 11.51
- ・ エフセキュア社 エフセキュア アンチウイルス ワークステーション 11.00
- ・ エフセキュア社 エフセキュア アンチウイルス ワークステーション 11.50
- ・ エフセキュア社 エフセキュア Windows サーバセキュリティ 11.00
- ・ ESET 社 ESET Smart Security 7
- ・ ESET 社 ESET NOD32 Antivirus 7

Agent ディスクイメージのコピー展開に対応

Agent インストール済みのディスクイメージコピーによる展開に対応しました。

※この「ディスクイメージ」とは OS および Agent をインストールしたハードディスクイメージ等を指します。V3.2.1 以前では、ディスクイメージコピーによる展開において以下 2 点の問題がありました。

- ・ 展開後に Sysprep を行うと、Agent 内部に保存してあるシステムパスワードが読み取れなくなり、e-Care Manager と通信できなくなる。
 - ・ キットアップ段階の Agent が e-Care Manager と通信すると端末管理 ID が割り振られ、その後 Agent をコピー展開すると、すべての Agent が同じ端末管理 ID を持つ状態になってしまう。
- これらの問題に対応するために Agent インストール時のオプションとして「キットアップモード」を追加しました。キットアップモードとは、すべての Agent サービスを「停止」の状態で行うモードです。このモードを使用することで、Agent をインストールしてからディスクイメージをコピーして OS を再起動するまで Agent サービスを停止しておくことができるようになり、上記問題も発生しなくなります。

キットアップモードによる Agent インストール、および Agent ディスクイメージのコピー展開の方法については、インストール・アンインストールマニュアルを参照してください。

KB002088 WSUS(Windows Server Update Services)利用環境での Windows Update ジョブの仕様変更

WSUS 利用環境では、マイクロソフト社の Windows Update サイトに公開されていない更新プログラムの場合、配信が承認されていても Windows Update ジョブでは対象外となり、インストールが行われなくなっていました。

WSUS 利用環境での Windows Update サイトに公開されていない更新プログラムについても、Windows Update ジョブの対象としてインストールを行うように変更しました。

6.新機能

最新バージョンでは、下記の新機能がございます。最初のバージョン(V3.2.0)からの累積の情報となっています。

Windows 2012 環境に対応

Windows Server 2012 環境で動作するようにしました。

Windows 8.1 環境に対応

Windows 8.1 環境で動作するようにしました。

ただし、Windows 8.1 の Windows ストアアプリはサポート対象外です。

Windows 2012 R2 環境に対応

Windows Server 2012 R2 環境で動作するようにしました。

Windows 10 環境に対応

Windows 10 環境で動作するようにしました。

ただし、Windows10 の Windows ストアアプリはサポート対象外です。

ヴァイエムウェア社の VMware Horizon View 5.3、6、6.2 環境、シトリックス・システムズ社の Citrix XenDesktop 7.0/7.1/7.5/7.6/7.7 環境に対応

ヴァイエムウェア社の VMware Horizon View 5.3、6、6.2 環境、シトリックス・システムズ社の Citrix XenDesktop 7.0/7.1/7.5/7.6/7.7 環境で正常動作を確認しました。

対象コンポーネントは、以下のとおりです。

- ・ e-Care Agent

※制御オプションを合わせてご契約いただいている場合、仮想環境はサポート対象外となります。

Windows 10 Anniversary Update 環境に対応

Windows 10 Anniversary Update 環境で動作するようにしました。

Windows 10 Creators Update 環境に対応

Windows 10 Creators Update 環境で動作するようにしました。

Windows Server 2016 環境に対応

Windows Server 2016 環境で動作するようにしました。

Windows 10 Fall Creators Update(1709)環境に対応

Windows 10 Fall Creators Update(1709)環境で動作するようにしました。

Windows 10 April 2018 Update(1803)環境に対応

Windows 10 April 2018 Update(1803)環境で動作するようにしました。

改訂履歴

2018/6/11

ページ	修正前	修正後
11	無し	<p>KB002088 WSUS(Windows Server Update Services) 利用環境での Windows Update ジョブの仕様変更</p> <p>WSUS 利用環境では、マイクロソフト社の Windows Update サイトに公開されていない更新プログラムの場合、配信が承認されていても Windows Update ジョブでは対象外となり、インストールが行われなくなっていました。</p> <p>WSUS 利用環境での Windows Update サイトに公開されていない更新プログラムについても、Windows Update ジョブの対象としてインストールを行うように変更しました。</p> <p>を追加</p>
12	無し	<p>Windows Server 2016 環境に対応</p> <p>Windows Server 2016 環境で動作するようにしました。</p> <p>を追加</p>
12	無し	<p>Windows 10 Fall Creators Update (1709) 環境に対応</p> <p>Windows 10 Fall Creators Update (1709) 環境で動作するようにしました。</p> <p>を追加</p>
12	無し	<p>Windows 10 April 2018 Update (1803) 環境に対応</p> <p>Windows 10 April 2018 Update (1803) 環境で動作するようにしました。</p> <p>を追加</p>

2017/8/28

ページ	修正前	修正後
6	無し	<p>KB000892 OS サービスマネージャを起動していると Agent のインストール/アンインストールに失敗する</p> <p>Agent のインストール時およびアンインストール時に OS サービスマネージャを起動していると、サービスの登録および削除に失敗します。</p> <p>サービスマネージャを終了した状態でインストールおよびアンインストールを実行してください。</p> <p>を追加</p>
7	無し	<p>KB000300 Soliton Smart Security Agent インストール/アップデート時のウイルス対策ソフトウェアとの共存について</p> <p>ウイルスバスター2007 以降で「不正変更(ウイルス/スパイウェア)の監視」、「不審ソフトウェア警戒システム」などの機能が有効になっている場合、Soliton Smart Security Agent のインストールやア</p>

		<p>アップデートを行うと、疑わしい動作として検出されます。ソフトウェアの詳細情報と処理(「許可」または「拒否」)を選択するメッセージが表示されますので、「許可」を選択して処理を続行し、インストールやアップデートを完了させてください。また、その他のウイルス対策ソフトウェアで同様の機能を持つ製品の場合も、正常にインストールやアップデートが完了するようにしてください。 を追加</p>
7	無し	<p>KB000300 ウイルスバスターとの共存について ウイルスバスター2007 以降の「不正変更の監視」や「不審ソフトウェア警戒システム」という機能で、追加されたサービスとして Soliton Smart Security Agent が検出されることがあります。このときに「変更を元に戻す」機能を使用して Soliton Smart Security Agent を削除してしまうことがないように注意してください。 もし、Soliton Smart Security Agent を削除してしまった場合は、以下の手順で復旧することができます。 ①レジストリエディタを起動して、以下のレジストリ情報を削除してください。 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Soliton Systems K.K.¥Soliton Smart Security¥Agent 以下すべて また、削除された Soliton Smart Security Agent を構成していたモジュールの各レジストリ情報も削除してください。削除するレジストリ情報は以下のとおりです。 e-Care Agent HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Soliton Systems K.K.¥Soliton Smart Security¥e-Care¥Agent 以下すべて InfoTrace Agent HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Soliton Systems K.K.¥Soliton Smart Security¥InfoTrace¥Agent 以下すべて LogAgent HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Soliton Systems K.K.¥Soliton Smart Security¥Common¥LogAgent 以下すべて SmartOn HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Soliton Systems K.K.¥Soliton Smart Security¥SmartOn</p>

		<p>以下すべて</p> <p>②Soliton Smart Security Agent をインストールしてください。</p> <p>このとき、削除された Soliton Smart Security Agent よりモジュール構成が少ない Soliton Smart Security Agent をインストールしないでください。</p> <p>③Soliton Smart Security Agent をアンインストールしてください。</p> <p>④改めて Soliton Smart Security Agent をインストールしてください。</p> <p>【注意】 レジストリエディタの使い方を誤ると、深刻な問題が発生することがあります。最悪の場合、OS の再インストールが必要になることがあります。弊社は、レジストリエディタの誤用により発生した問題に関しては、一切責任を負わないものとします。レジストリエディタは、自己の責任において使用してください。</p> <p>を追加</p>
9	無し	<p>KB002030 Windows 10 のインベントリ情報で Windows Update の「最終更新日」が更新されない</p> <p>Windows 10 のインベントリ情報で、Windows Update の「最終更新日」が「未アップデート」などと誤って表示され、更新されない問題を修正しました。</p> <p>を追加</p>
12	無し	<p>Windows 10 Anniversary Update 環境に対応</p> <p>Windows 10 Anniversary Update 環境で動作するようにしました。</p> <p>を追加</p>
12	無し	<p>Windows 10 Creators Update 環境に対応</p> <p>Windows 10 Creators Update 環境で動作するようにしました。</p> <p>を追加</p>

2017/4/11

ページ	修正前	修正後
3	サポート OS Windows Vista Windows 7 Windows 8.1 Windows 10 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2	サポート OS Windows 7 Windows 8.1 Windows 10 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2

4	<p>OS のアップグレード 本サービスの Agent がインストールされた PC の OS のアップグレード(Vista から 7 のような)をする場合は、必ず Agent をアンインストールした状態で行ってください。</p>	<p>OS のアップグレード 本サービスの Agent がインストールされた PC の OS のアップグレード(8.1 から 10 のような)をする場合は、必ず Agent をアンインストールした状態で行ってください。</p>
6	<p>KB001635 64 ビット OS 環境で、Agent セットアップ時のエラーログが出力されない場合がある キー： HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Explorer¥User Shell Folders 値名 : Common AppData 値 : %ProgramData%(Windows Vista/7/2008 の場合)</p>	<p>KB001635 64 ビット OS 環境で、Agent セットアップ時のエラーログが出力されない場合がある キー： HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Explorer¥User Shell Folders 値名 : Common AppData 値 : %ProgramData%(Windows 7/2008 の場合)</p>
6	<p>KB001329 ウイルスバスター 2012 クラウドのパターンファイルのバージョンが「.」区切りで表示されない Agent のインストール時に、以下のエラーが表示されて、インストールが中断される場合があります。 ウイルス対策ソフトウェアの情報で表示されるエンジンバージョン、パターンファイルバージョン情報は、対象のソフトウェアの画面上で表示される形式とは異なる場合があります。</p>	<p>KB001329 ソフトウェア情報で表示されるウイルス対策ソフトウェアのバージョンが、製品の形式と異なる場合がある e-Care のウイルス対策ソフトウェアの情報で表示されるエンジンバージョン、パターンファイルバージョン情報は、対象のソフトウェアの画面上で表示される形式とは異なる場合があります。</p>
7	<p>KB000494 「インストールされているソフトウェア」に表示される情報が「プログラムと機能」に表示される情報と異なる場合がある この問題は、e-Care V5.2.0 以降で改善されています。 「インストールされているソフトウェア」に表示される情報が「プログラムと機能」に表示される情報に比べて、情報が不足しているなど、異なる場合がある問題を修正しました。ただし、Windows Vista 以降の OS で、Windows のホットフィックスの名称が「インストールされているソフトウェア」と「プログラムと機能」で一部異なって表示される場合があります。</p>	<p>KB000494 「インストールされているソフトウェア」に表示される情報が「プログラムと機能」に表示される情報と異なる場合がある この問題は、e-Care V5.2.0 以降で改善されています。 「インストールされているソフトウェア」に表示される情報が「プログラムと機能」に表示される情報に比べて、情報が不足しているなど、異なる場合がある問題を修正しました。ただし、Windows 7 以降の OS で、Windows のホットフィックスの名称が「インストールされているソフトウェア」と「プログラムと機能」で一部異なって表示される場合があります。</p>
8	<p>KB001833 Agent インストーラの動作中にログオフ・シャットダウン・再起動ができてしまう Soliton Smart Security Agent のインストーラの動作中に、ログオフ・シャットダウン・再起動ができてしまう問題を修正しました。 これにより、インストーラ動作中にログオフ・シャットダウン・再起動を実行することで稼動状況とレジストリ情報が不整合となり、次回以降、アップデートやアンインストールの処理に失敗することを防ぐことができます。</p>	<p>KB001833 Agent インストーラの動作中にログオフ・シャットダウン・再起動ができてしまう Soliton Smart Security Agent のインストーラの動作中に、ログオフ・シャットダウン・再起動ができてしまう問題を修正しました。 これにより、インストーラ動作中にログオフ・シャットダウン・再起動を実行することで稼動状況とレジストリ情報が不整合となり、次回以降、アップデートやアンインストールの処理に失敗することを防ぐことができます。</p>

	<p>□ サイレントモードと通常(画面表示)モードの両方に対応しています。</p> <p>□ Windows Vista 以降の OS では、シャットダウン画面上にインストーラが動作中である旨のメッセージが表示されます。</p> <p>〈キャンセル〉ボタンをクリックし、インストーラが完了するまでログオフ・シャットダウン・再起動は控えてください。</p>	<p>□ サイレントモードと通常(画面表示)モードの両方に対応しています。</p> <p>□ Windows 7 以降の OS では、シャットダウン画面上にインストーラが動作中である旨のメッセージが表示されます。</p> <p>〈キャンセル〉ボタンをクリックし、インストーラが完了するまでログオフ・シャットダウン・再起動は控えてください。</p>
9	<p>KB001529 Agent インストール時のサポート OS チェックの追加</p> <p>サポート対象外である Windows Vista SP1 (32 ビット/64 ビット)に Soliton Smart Security Agent をインストールできないようにしました。</p>	<p>削除</p>
11	<p>ヴァイエムウェア社の VMware Horizon View 5.3、6、6.2 環境、シトリックス・システムズ社の Citrix XenDesktop 7.0/7.1/7.5/7.6/7.7 環境に対応</p> <p>ヴァイエムウェア社の VMware Horizon View 5.3、6、6.2 環境、シトリックス・システムズ社の Citrix XenDesktop 7.0/7.1/7.5/7.6/7.7 環境で正常動作を確認しました。</p> <p>対象コンポーネントは、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e-Care Agent 	<p>ヴァイエムウェア社の VMware Horizon View 5.3、6、6.2 環境、シトリックス・システムズ社の Citrix XenDesktop 7.0/7.1/7.5/7.6/7.7 環境に対応</p> <p>ヴァイエムウェア社の VMware Horizon View 5.3、6、6.2 環境、シトリックス・システムズ社の Citrix XenDesktop 7.0/7.1/7.5/7.6/7.7 環境で正常動作を確認しました。</p> <p>対象コンポーネントは、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e-Care Agent <p>※制御オプションを合わせてご契約いただいている場合、仮想環境はサポート対象外となります。</p>

2017/2/14

ページ	修正前	修正後
6	無し	<p>Windows10 における Windows Update 検知について</p> <p>Windows 10 の Windows Update の更新設定は、Windows 8.1 以前の設定と全く異なりますが、グループポリシーで自動更新設定を行うと、Windows 8.1 以前と同じ設定になります。</p> <p>Windows 10 で Windows Update をグループポリシーで設定している PC は、eC-OD の設定-ソフトウェア-Window Update の「Windows 10」に設定されている内容では違反が検知できないため、「Windows 8.1 以前の OS」に設定されている内容で違反を検知します。</p> <p>を追加</p>

11	無し	<p>ヴァイエムウェア社の VMware Horizon View 5.3、6、6.2 環境、シトリックス・システムズ社の Citrix XenDesktop 7.0/7.1/7.5/7.6/7.7 環境に対応</p> <p>ヴァイエムウェア社の VMware Horizon View 5.3、6、6.2 環境、シトリックス・システムズ社の Citrix XenDesktop 7.0/7.1/7.5/7.6/7.7 環境で正常動作を確認しました。</p> <p>対象コンポーネントは、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e-Care Agent を追加
----	----	---

2016/11/9

ページ	修正前	修正後
5	<p>【注意】 お客様のネットワークからインターネットに直接通信が出来ない場合は、事前に弊社担当者までご連絡ください。</p> <p>TCP/24556(資産情報取得用)の通信を行う際に、Web 以外の通信もプロキシサーバで経由されている場合は、そのプロキシサーバの IP アドレスを教えてくださいいただく必要があります。</p> <p>また、お客様のプロキシサーバに、TCP/443 と TCP/24556 の転送設定をしていただく必要があります。</p>	削除

2016/6/30

ページ	修正前	修正後
3	<p>サポート OS(v3.2.13 まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windows Vista ・Windows 7 ・Windows 8.1 ・Windows Server 2008 ・Windows Server 2008 R2 ・Windows Server 2012 ・Windows Server 2012 R2 	<p>サポート OS(v3.2.14 から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windows Vista ・Windows 7 ・Windows 8.1 ・Windows 10 ・Windows Server 2008 ・Windows Server 2008 R2 ・Windows Server 2012 ・Windows Server 2012 R2
7	無し(v3.2.13 まで)	<p>制約事項(v3.2.14 から)</p> <p>KB001998 「Soliton Smart Security Agent サービスは予期せぬ原因により終了しました。このサービスの強制終了は x 回目です。」というイベントログが記録される場合がある</p> <p>を追加</p>
8	無し(v3.2.13 まで)	<p>制約事項(v3.2.14 から)</p> <p>KB001996 sysprep を行うと Windows Update が空になる</p> <p>を追加</p>

サービスに関する確認事項 v1r14

12	無し	新機能(v3.2.14 から) Windows 10 環境に対応 を追加
13	無し	改訂履歴を新規作成

eCare-OnDemand Version 3.2
サービスに関する確認事項
2018/6/11
株式会社ソリトンシステムズ

本書を当社に無断でその一部、あるいはその全部を複写、複製(コピー)、追加、削除、修正、加工および転載することを禁じます。
本書の内容は製品改良等のため、予告なく変更される場合があります。
本書に記載されたデータ等の使用に因る逸失利益、損害等について当社は一切その責任を負いません。
その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。

株式会社ソリトンシステムズ 